

宇宙利用に関するアイデアの募集要項

1. 募集の目的

総務省では、「宇宙利用の将来像に関する懇話会」（以下「懇話会」という。）を開催し、宇宙利用において政府が目指すべき方向性や短期的及び長期的に取り組むべき方策について検討を実施することとしました。その検討に先立ち、広く宇宙利用に関するアイデアを募集します。

2. 募集する事項

以下の①又は②に該当するアイデアを募集します。

①については、一部地域に特化したアイデアでも応募が可能です。また、シーズ・ニーズの別、アイデアの適用分野や業界等は問いません。

②については、例えば、50年後の未来に宇宙でこのようなことが実現できていれば、「うれしい、楽しい」といった夢のあるアイデアも広く募集します。

① 宇宙データ（衛星による測位データや観測データ）の利活用による新サービス・産業等について

例1 既存又は近い将来的に利用可能となる3次元空間を把握するデータ（測位、光学センサ、SARのデータ等）の利用方法（4次元サイバーシティ※の最適な形態を含む。）や4次元サイバーシティと既存データ（地上系データ及び3次元空間を把握するデータ以外の宇宙データ）との組合せにより創出される新サービス・新産業に関するもの

※ 測位データや衛星データによる3次元空間の把握と、AI解析による時間的変化の自動抽出により、4次元（3次元＋時間差分）的に様々な情報の把握を可能とするもの。

例2 宇宙データの利活用を推進・高度化させるための研究及び開発の在り方や研究機関の役割

② 宇宙利用における長期的な将来像やその実現に向けた方策

例1 宇宙エレベータ、スペースプレーン等の輸送システム、月近傍等における有人宇宙活動、宇宙デブリの自動除去、宇宙空間での居住、太陽系外探査、量子テレポーテーション等

例2 その他 SF やマンガ・アニメで描かれている将来像に関するもの

3. 応募条件

本募集の趣旨に合致する宇宙利用のアイデアを持つ企業・団体、地方自治体や国民の皆様が応募できます。部署やグループのほか、個人としての応募も可能です。

4. 応募方法

別紙1及び別紙2の応募用紙に必要事項を記入の上、以下の期限までに[5.]の提出先のメールアドレスへ送付してください。なお、応募用紙欄には、「応募者名（団体・個人）」、「資料公開の可否」、「プレゼンテーションの可否」及び「アイデア番号」の選択欄がありますので、該当する方を○で囲んでください。

<応募期限>

- ① 宇宙データの利活用による新サービス・産業等について

応募期限：平成30年1月23日（火）17時

- ② 宇宙利用における長期的な将来像やその実現に向けた方策

応募期限：平成30年2月27日（火）17時

※ 別紙1に記載の個人情報、懇話会の運営のみに使用し、目的外の使用はいたしません。

※ 資料公開及びプレゼンテーションの可否について、「可」とされた場合、後日、別途ご連絡させていただく場合もありますので、ご承知いただきますようお願いいたします。

5. 提出先及び連絡先

総務省国際戦略局宇宙通信政策課

メールアドレス：4d-cyber_atmark_ml.soumu.go.jp

電話番号：03-5253-5769

※ スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表記しています。送信の際には、「@」に変更してください。

※ 本メールアドレスに送付された内容は、全て、懇話会の「4次元サイバーシティの活用に向けたタスクフォース」の事務局を支援する株式会社NTTデータ経営研究所にも共有させていただきます。